

起工	
年度	令和8年度
名称	1号谷止工平面図
施工地	倉吉市大立
事業名	大立地区復旧治山工事(1工区)
事業所	鳥取県中部総合事務所
図面番号	1 縮尺 1/500 (A1)

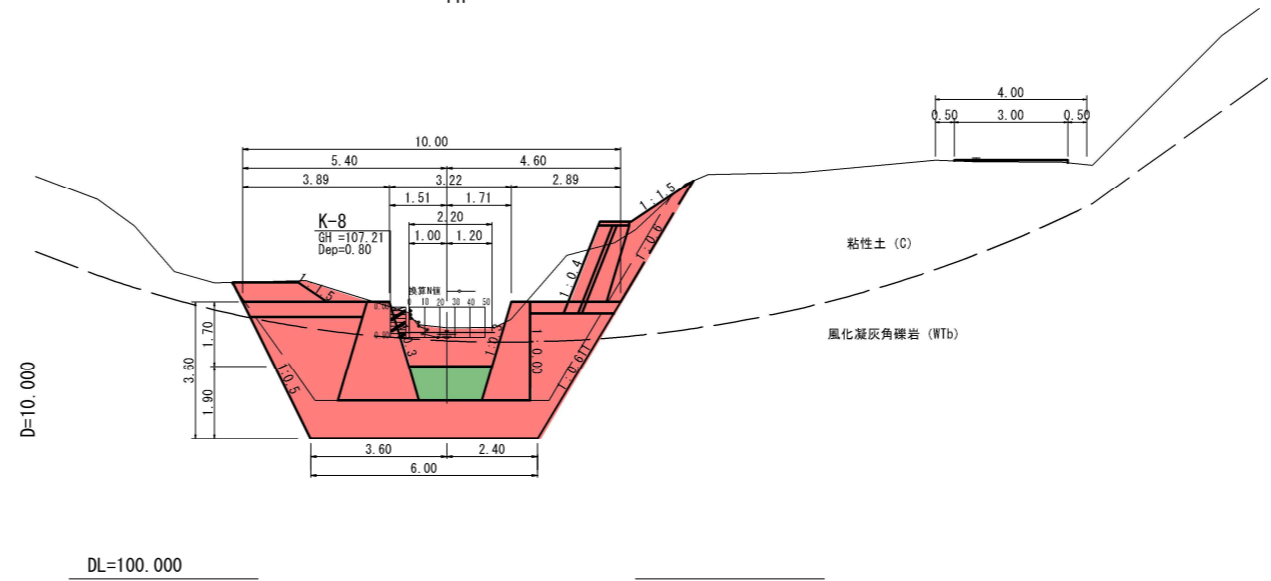
(単位: m)

※縮尺はA1印刷時のもの。



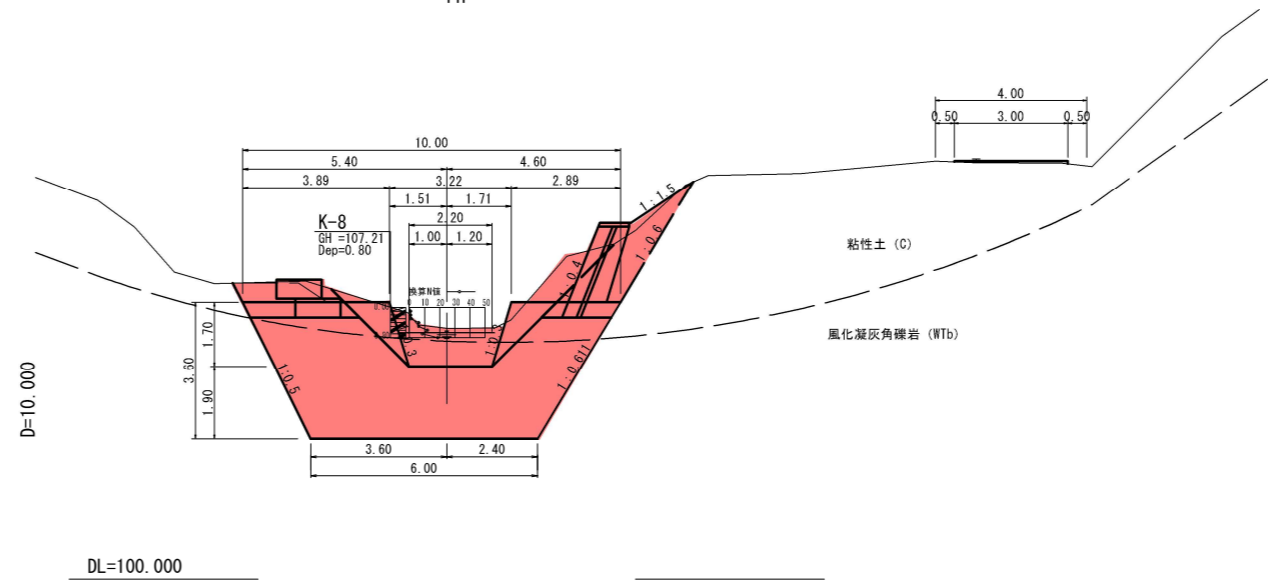
1N0.5+17.30 (上流側)

GH=106.66  
FH=



1N0.5+17.30 (下流側)

GH=106.66  
FH=



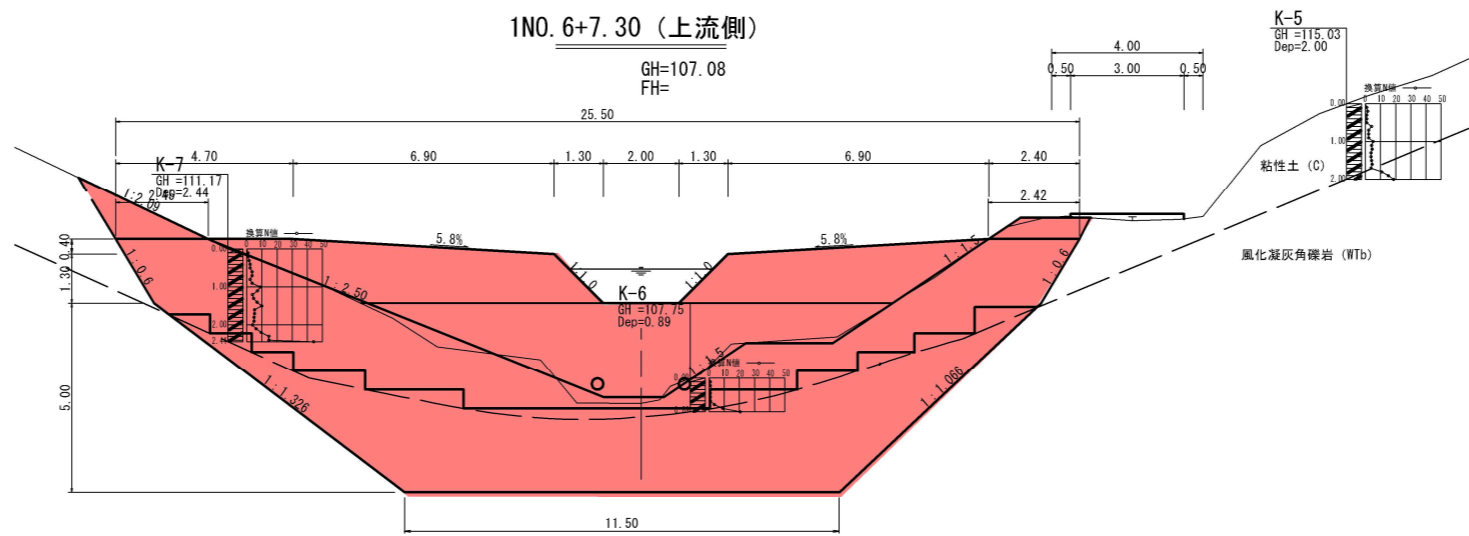
起工

1N0.5+17.30

年度	令和8年度	
名称	構造物計画位置横断面図(1)	
施工地	倉吉市大立	
事業名	大立地区復旧治山工事(1工区)	
事業所	鳥取県中部総合事務所	
図面番号	3	縮尺 1/100 (A1)

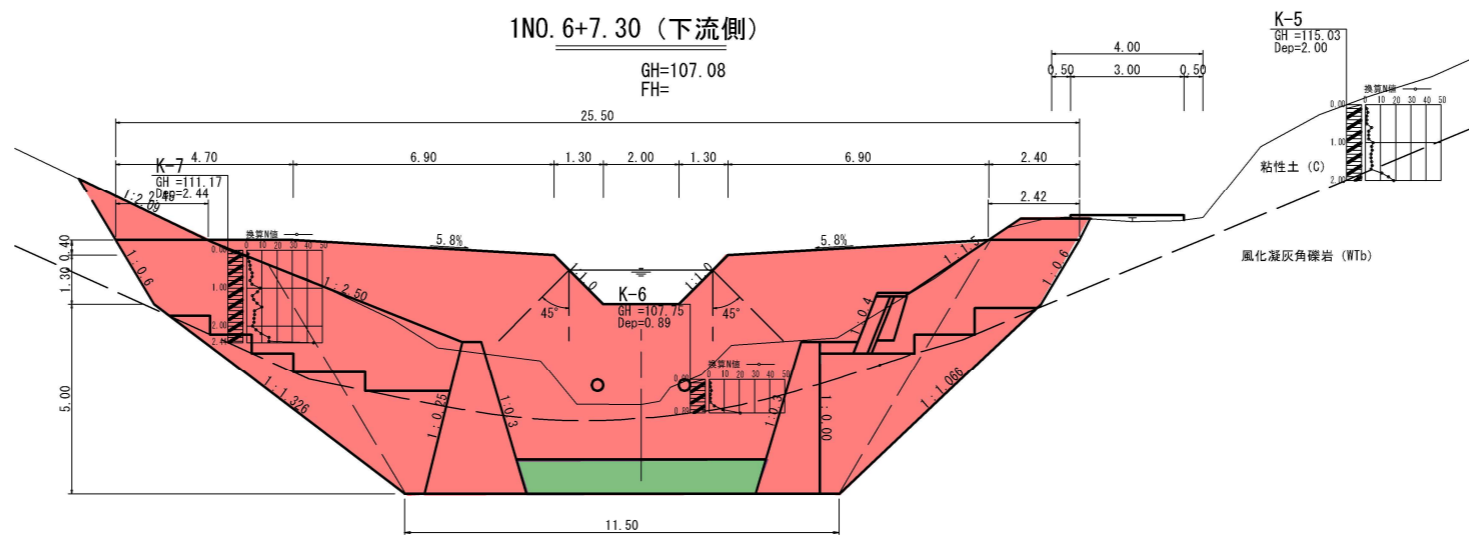
(単位: m)

※縮尺はA1印刷時のもの。



DL=100.000

治山ダム背面盛土 A=19.4m<sup>2</sup>

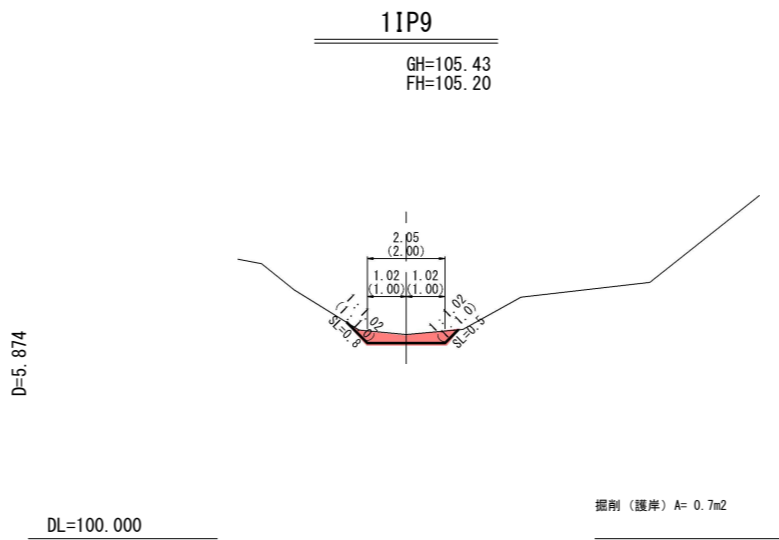
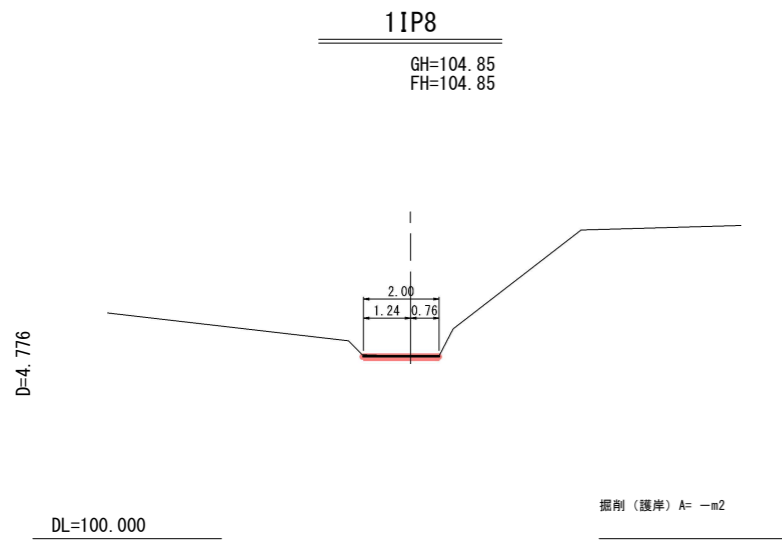
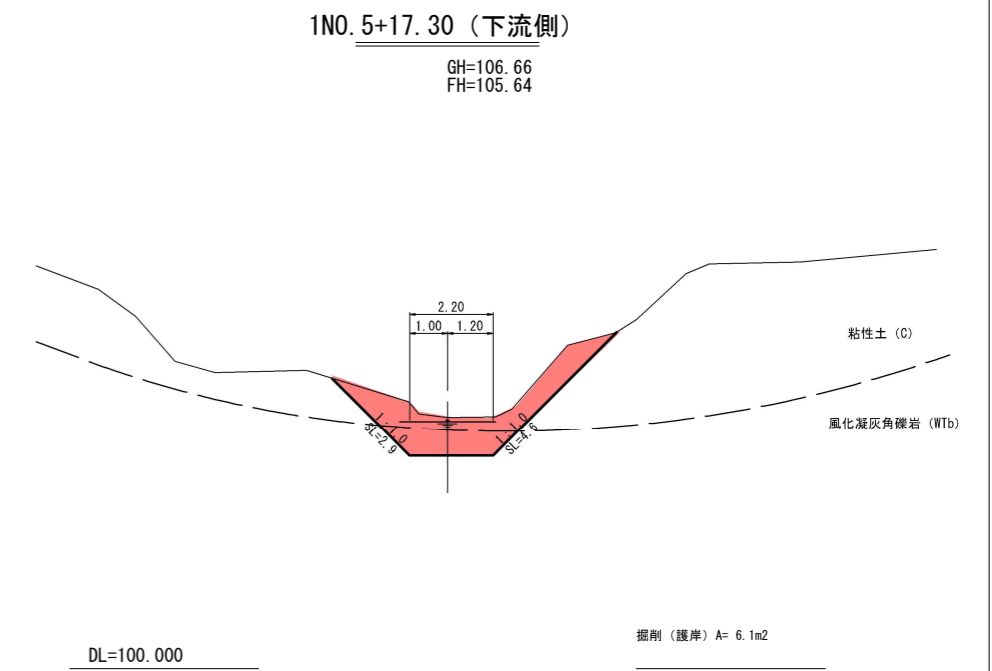
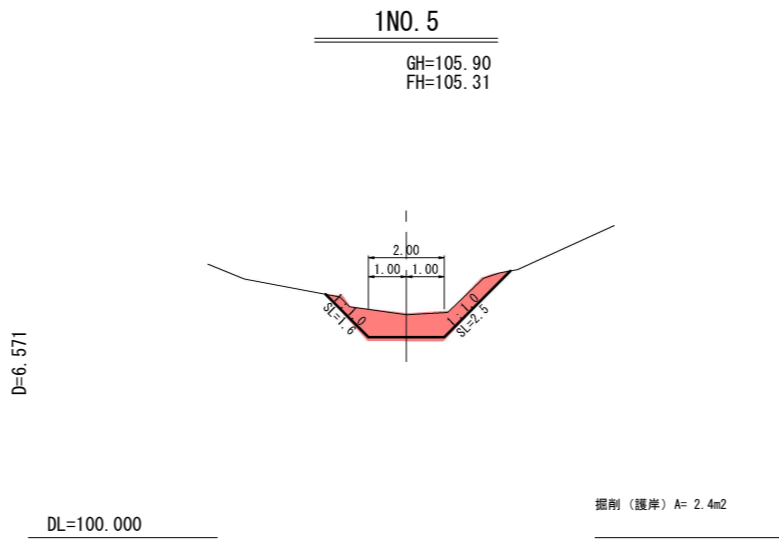
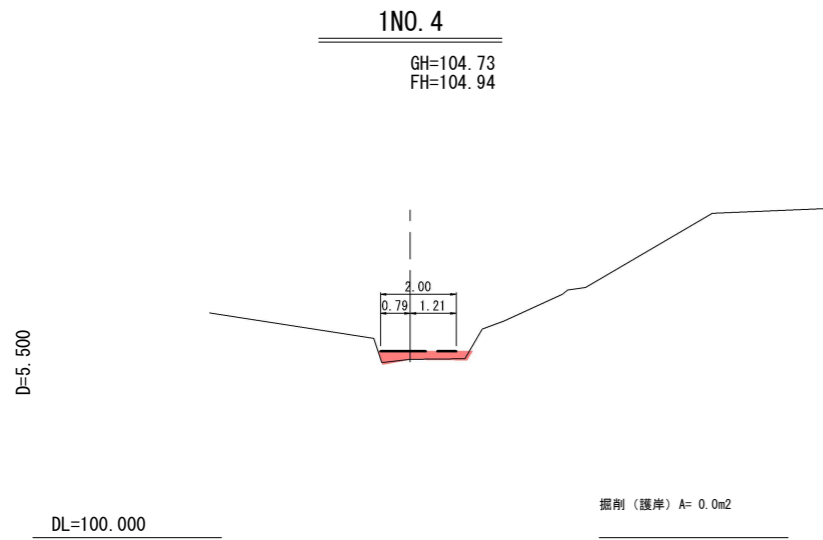
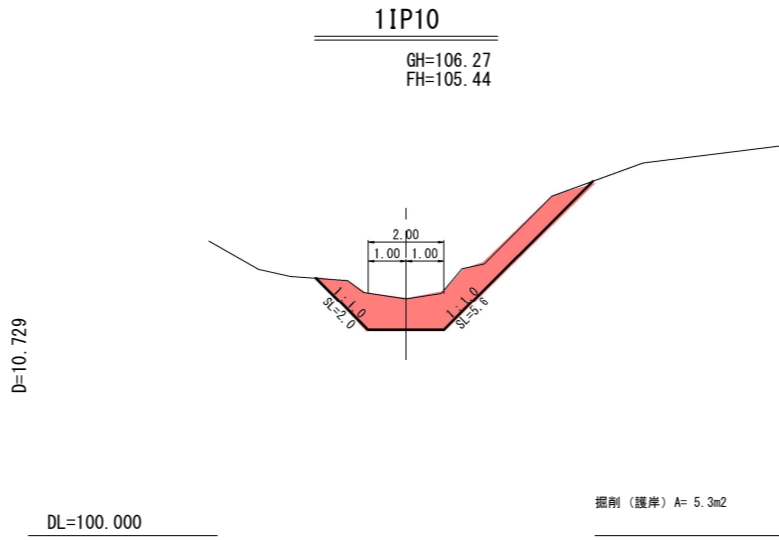
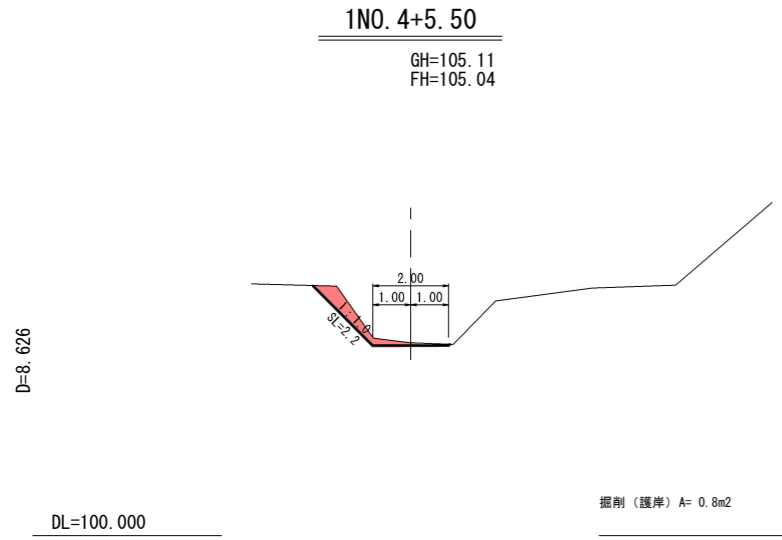


DL=100.000

起工	
1NO. 6+7.30	
年度	令和8年度
名称	構造物計画位置横断面図(2)
施工地	倉吉市大立
事業名	大立地区復旧治山工事(1工区)
事業所	鳥取県中部総合事務所
図面番号	4
縮尺	1/100 (A1)

(単位: m)

※縮尺はA1印刷時のもの。

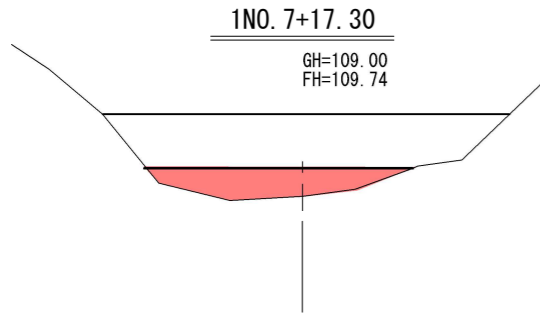


※横断面図については、ペーパーケーションである。

起工	
1IP8 (1NO. 3+15.22) ~ 1IP10 (1NO. 5+6.51)	
年度	令和 8 年度
名称	横断面図 (1)
施工地	倉吉市大立
事業名	大立地区復旧治山工事 (1 工区)
事業所	鳥取県中部総合事務所
図面番号	5 縮尺 1/100 (A1)

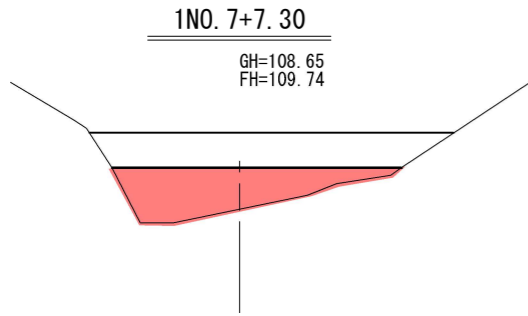
(単位: m)

※縮尺は A 1 印刷時のもの。



DL=100.000

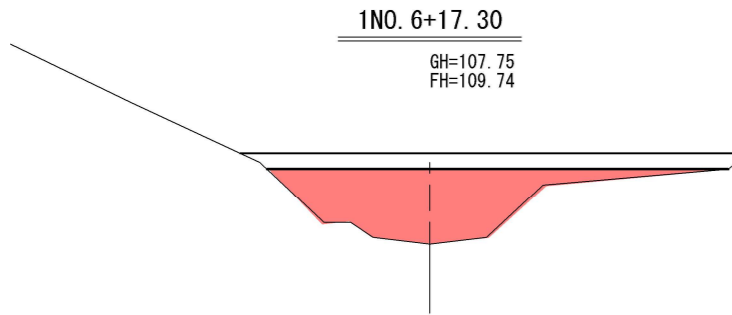
治山ダム背面盛土 A= 4.1m<sup>2</sup>



D=10.000

DL=100.000

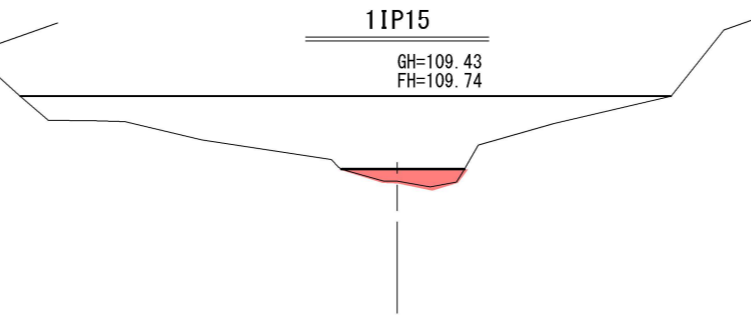
治山ダム背面盛土 A= 6.6m<sup>2</sup>



D=10.000

DL=100.000

治山ダム背面盛土 A=11.5m<sup>2</sup>



DL=100.000

治山ダム背面盛土 A= 0.9m<sup>2</sup>

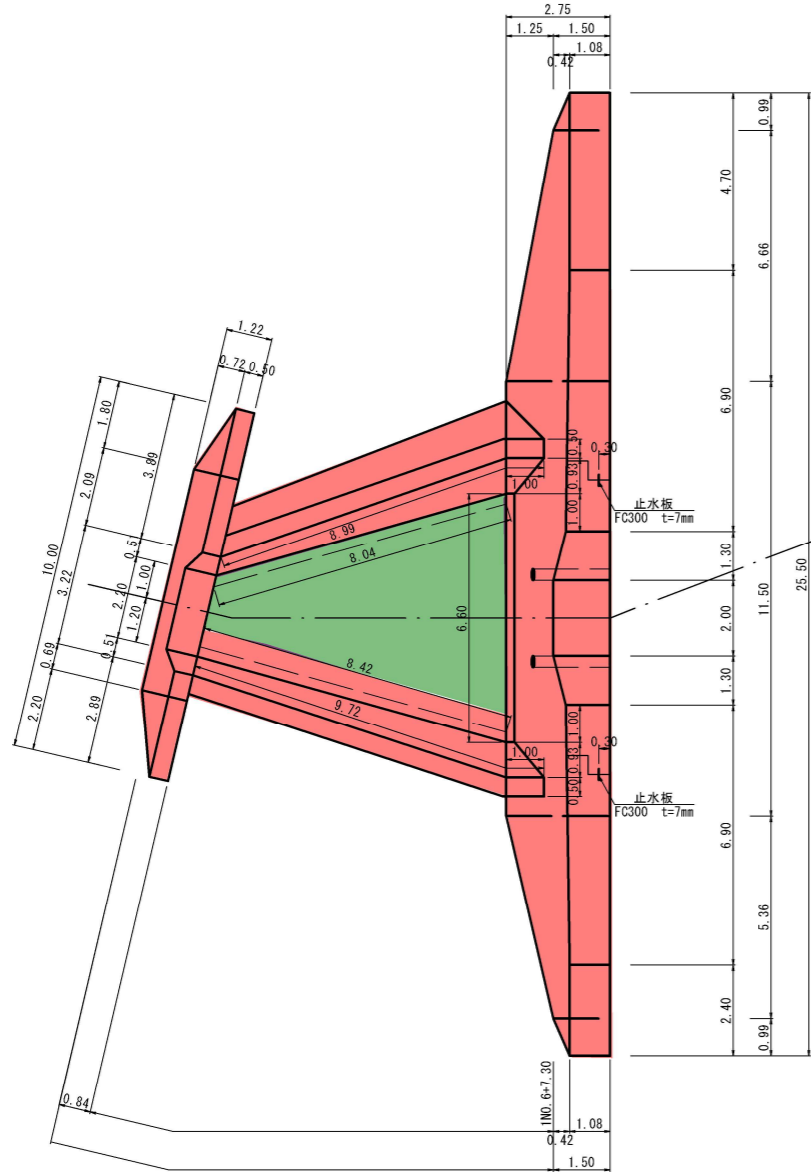
※横断面図については、ペーパーロケーションである。

起工	
1NO. 6+17.30~1NO. 7+17.30	
年度	令和8年度
名称	横断面図(2)
施工地	倉吉市大立
事業名	大立地区復旧治山工事(1工区)
事業所	鳥取県中部総合事務所
図面番号	6
縮尺	1/100 (A1)

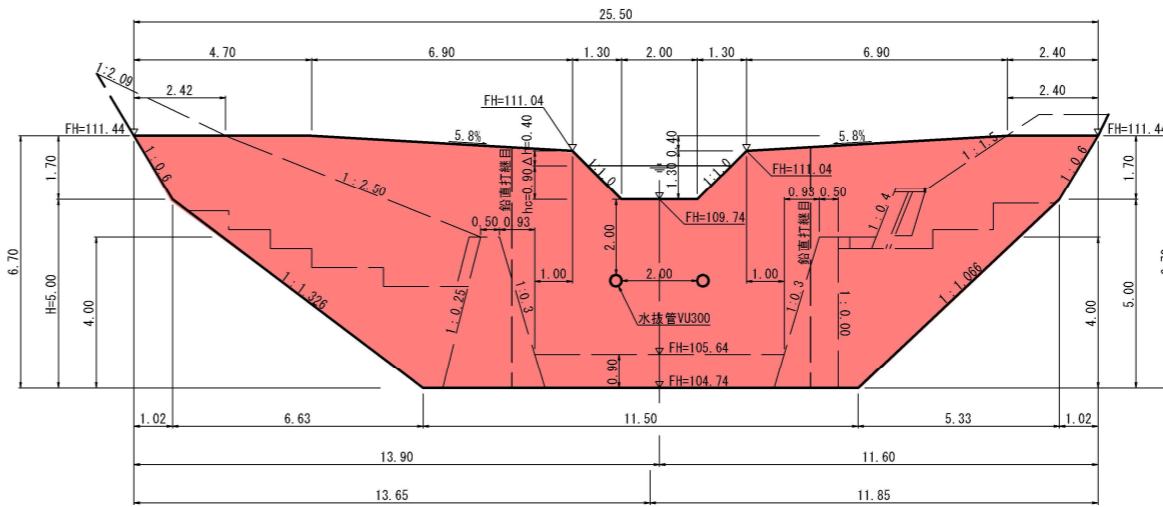
(単位: m)

※縮尺はA1印刷時のもの。

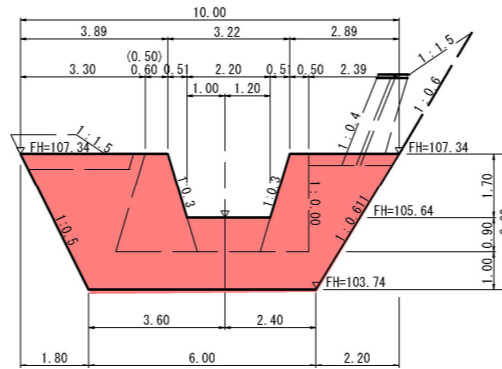
平面図



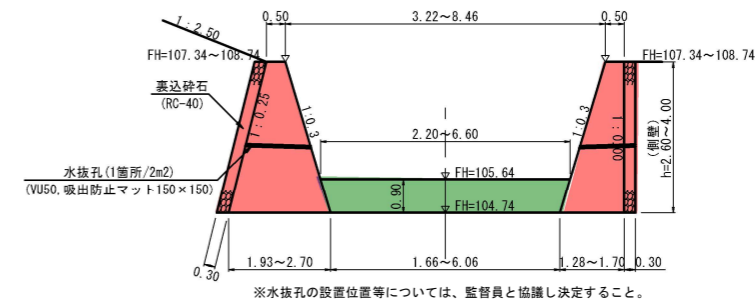
本堤正面図



垂直壁正面図



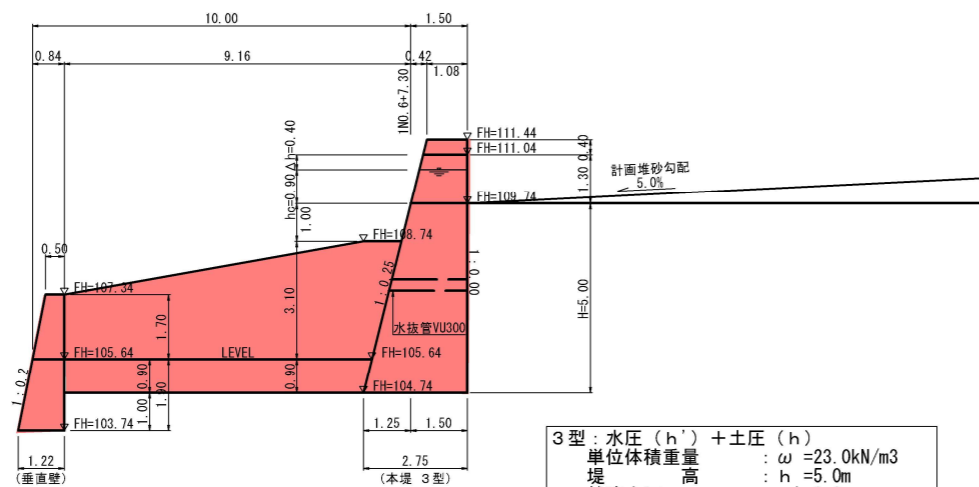
側壁断面図



右岸側壁  
GW-C (自立) 地山タイプ  
壁体単位重量 :  $\omega = 23.0 \text{ kN/m}^3$   
地表面傾斜角 :  $\beta = 22^\circ$   
背面土内部摩擦角 :  $\phi = 25^\circ$   
基礎地盤の摩擦係数 :  $f = 0.7$   
許容支持力 :  $Qa = 130 \text{ kN/m}^2$ 以上

左岸側壁  
GW-C (自立) 地山タイプ  
壁体単位重量 :  $\omega = 23.0 \text{ kN/m}^3$   
地表面傾斜角 :  $\beta = 0^\circ$   
背面土内部摩擦角 :  $\phi = 25^\circ$   
基礎地盤の摩擦係数 :  $f = 0.7$   
許容支持力 :  $Qa = 130 \text{ kN/m}^2$ 以上

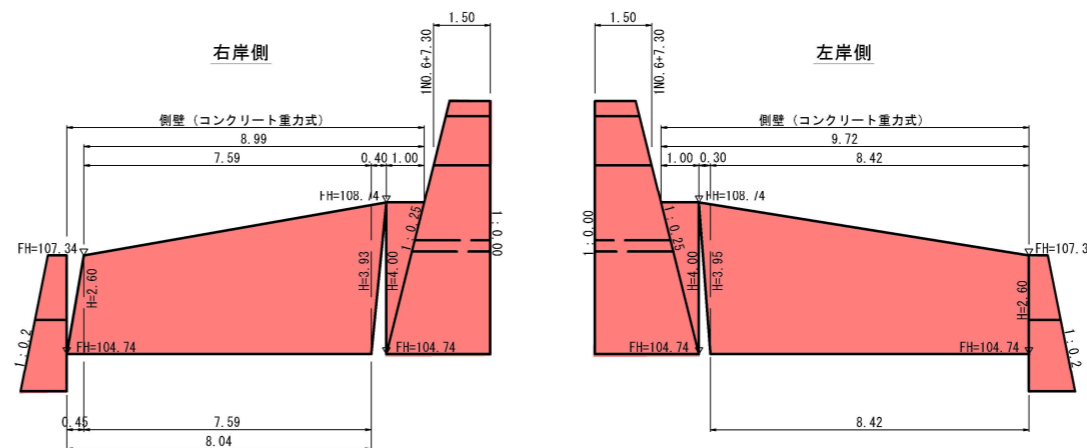
側面図



3型 : 水圧 (h') + 土圧 (h)  
単位体積重量 :  $\omega = 23.0 \text{ kN/m}^3$   
堤高 :  $h = 5.0 \text{ m}$   
越流水深 :  $h' = 0.9 \text{ m}$   
許容支持力 :  $Qa = 170 \text{ kN/m}^2$ 以上

※水抜き管の水表側 (堤体上流側) に吸出防止材の設置や、水抜き管周辺を鏝等により埋戻す。

側壁展開図



※側壁に対して直角方向に勾配及び天端幅の基準値を守ること。

起工	
年度	令和8年度
名称	治山ダム構造詳細図 (3型)
施工地	倉吉市大立
事業名	大立地区復旧治山工事 (1工区)
事業所	鳥取県中部総合事務所
図面番号	7 縮尺 1/100 (A1)

(単位 : m)

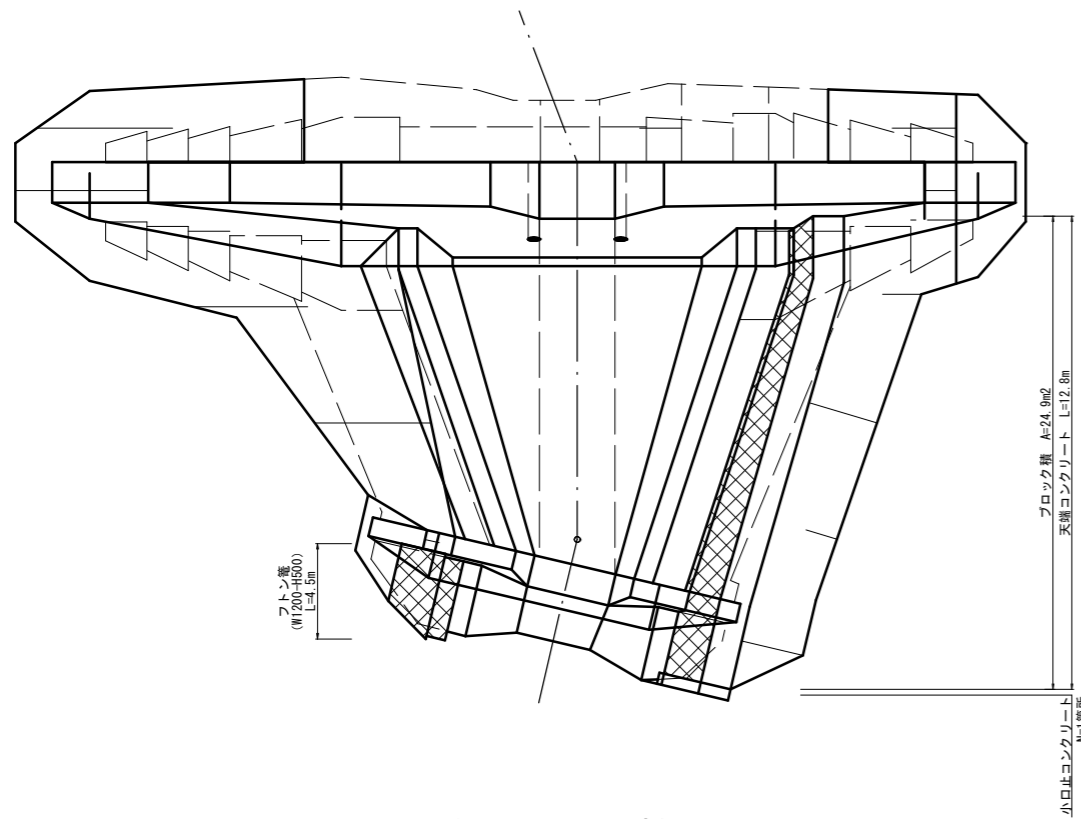
※縮尺はA1印刷時のもの。



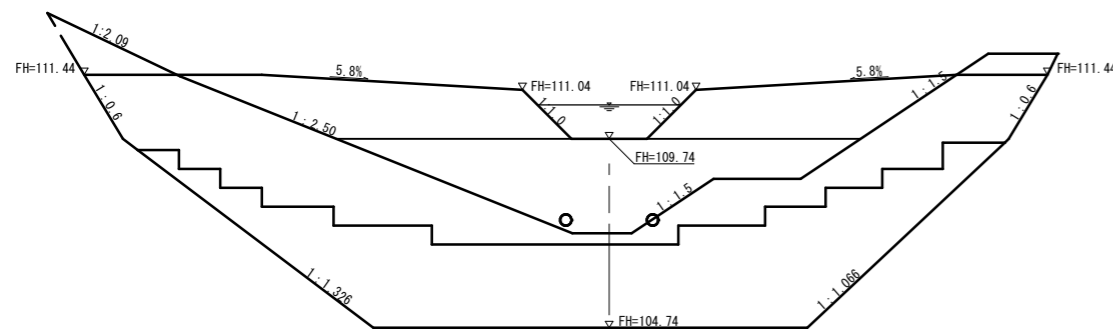
治山ダム間詰工計画図 (2)

ブロック積・法面工詳細図

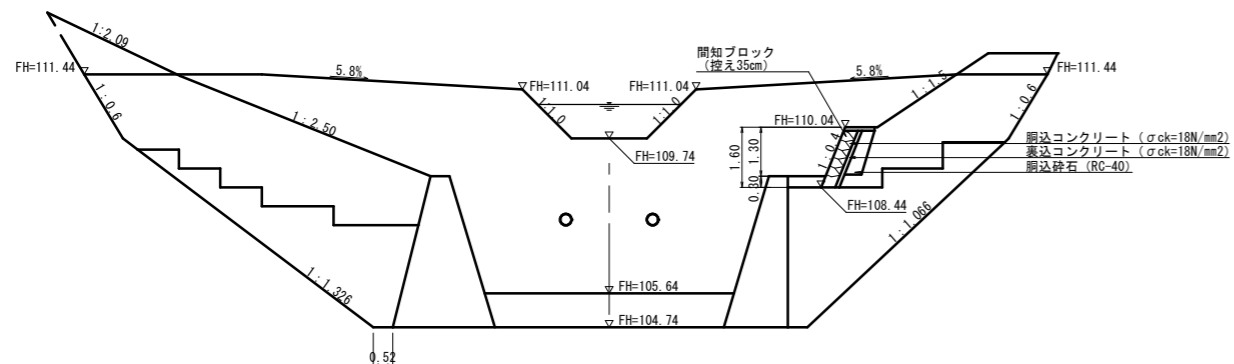
平面図



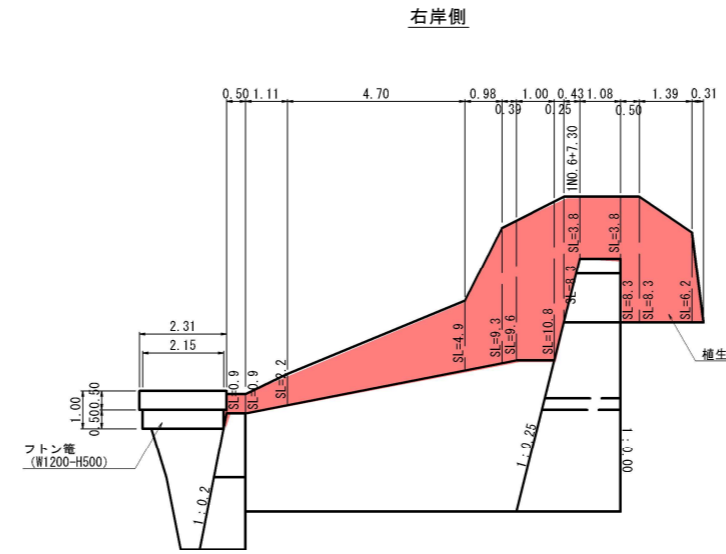
本堤正面図 (上流側)



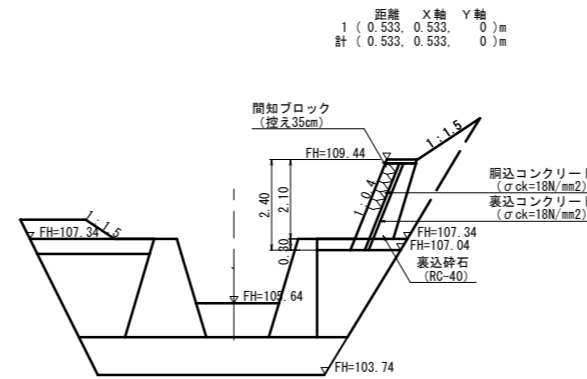
本堤正面図 (下流側)



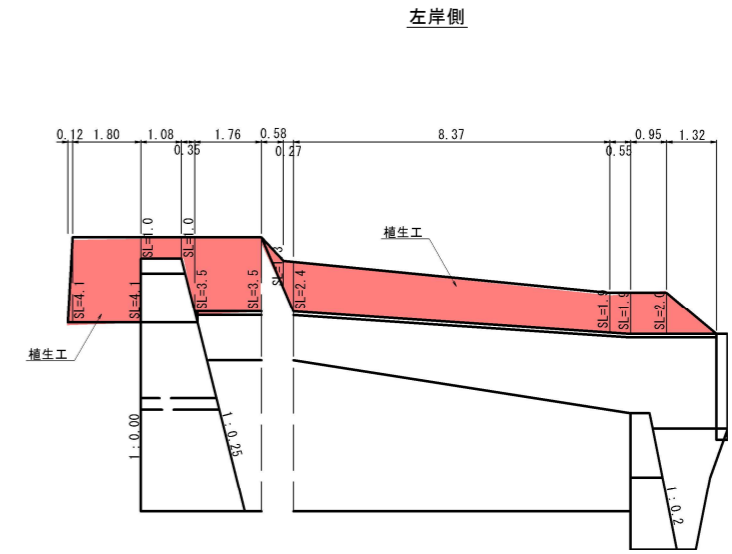
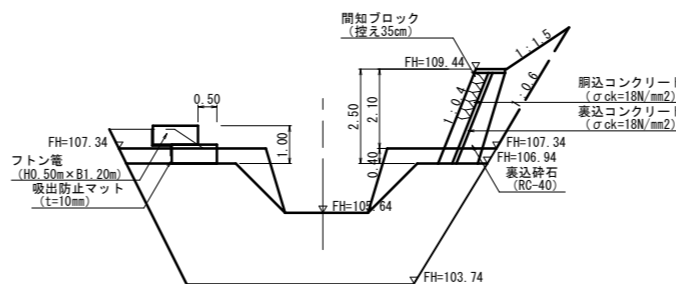
法面工展開図



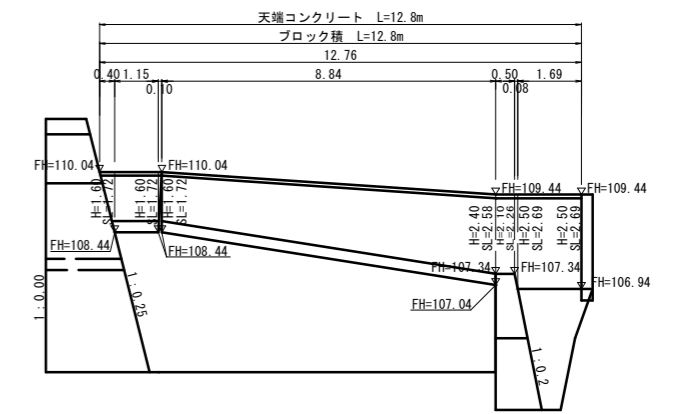
垂直壁正面図 (上流側)



垂直壁正面図 (下流側)



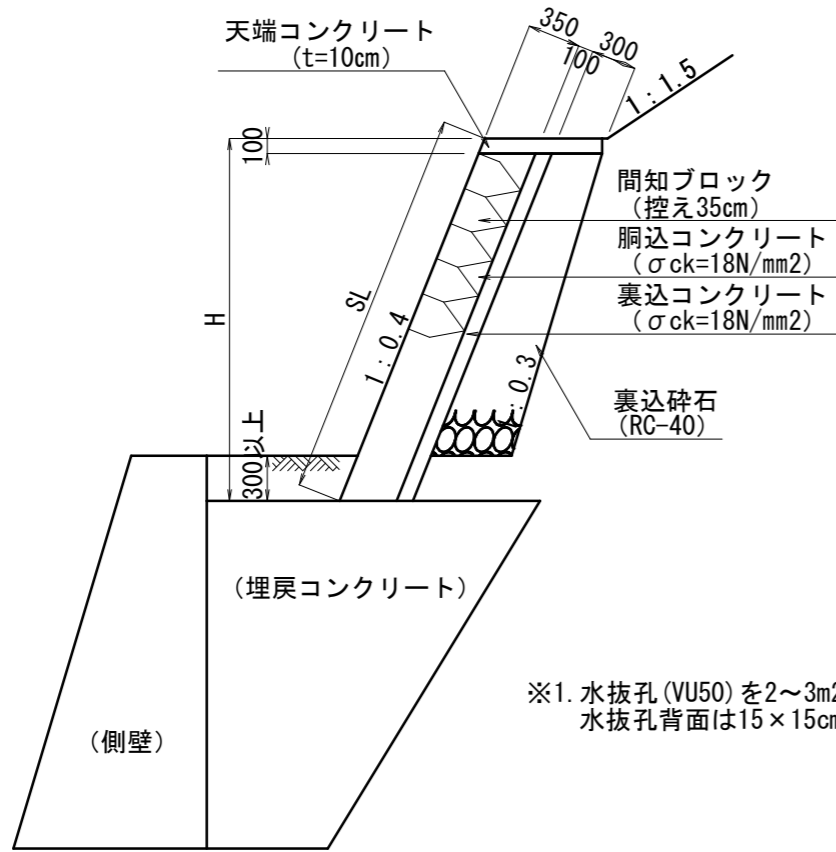
左岸側



起工	
年度	令和8年度
名称	治山ダム間詰工計画図 (2)
施工地	倉吉市大立
事業名	大立地区復旧治山工事 (1工区)
事業所	鳥取県中部総合事務所
図面番号	9 縮尺 1/100 (A1)

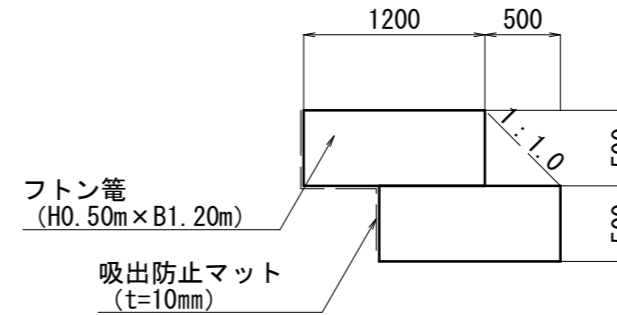
(単位: m)  
※縮尺はA1印刷時のもの。

### ブロック積展開図 S=1:50



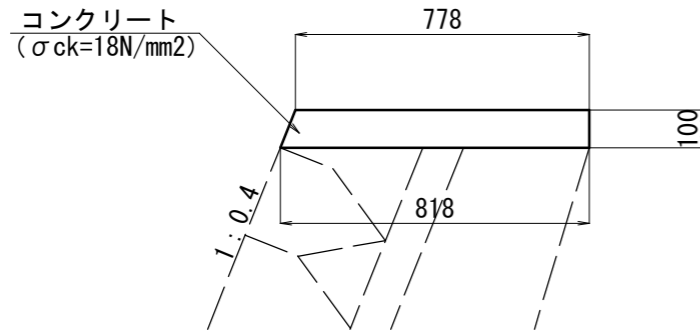
※1. 水抜孔 (VU50) を2~3m<sup>2</sup>に1箇所割合で設置する。  
水抜孔背面は15×15cm程度の透水マットを設ける。

### フトン箆 S=1:50



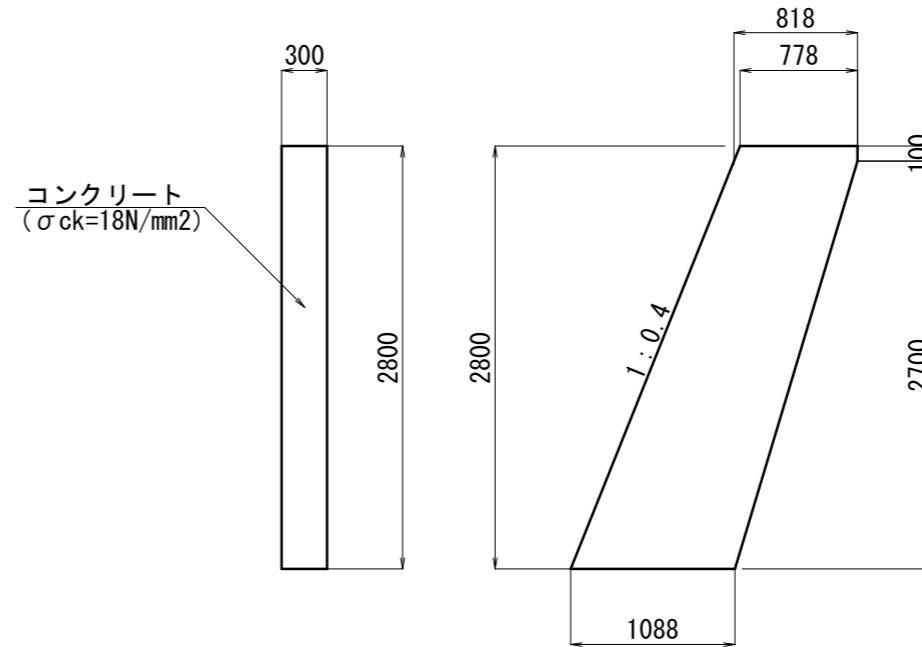
数量表			1箇所当り
名称	規格	単位	数量
フトン箆	線径φ4.0mm H0.50m×B1.20m	m	4.5
中詰め材	栗石15~20cm程度	m <sup>3</sup>	2.6
吸出防止マット	t=10mm	m <sup>2</sup>	8.0

### 天端コンクリート S=1:20



数量表				10.0m当り
名称	規格	単位	数量	
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.798	
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	2.077	
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.080	

### 小口止コンクリート S=1:50



数量表				1箇所当り
名称	規格	単位	数量	
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	0.796	
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	6.210	

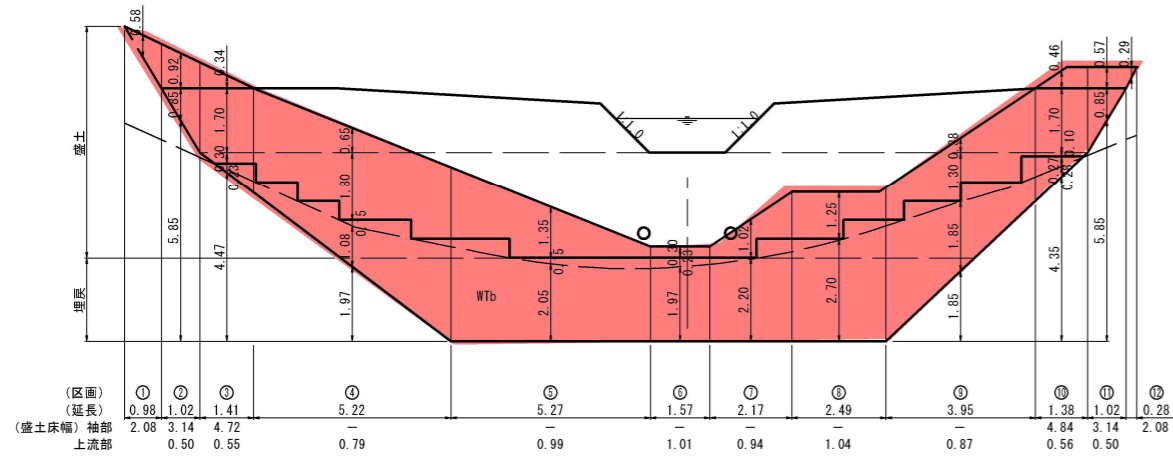
起工			
年度	令和8年度		
名称	治山ダム間詰工計画図 (3)		
施工地	倉吉市大立		
事業名	大立地区復旧治山工事 (1工区)		
事業所	鳥取県中部総合事務所		
図面番号	10	縮尺	図示

(単位: mm)  
※縮尺はA3印刷時のもの。

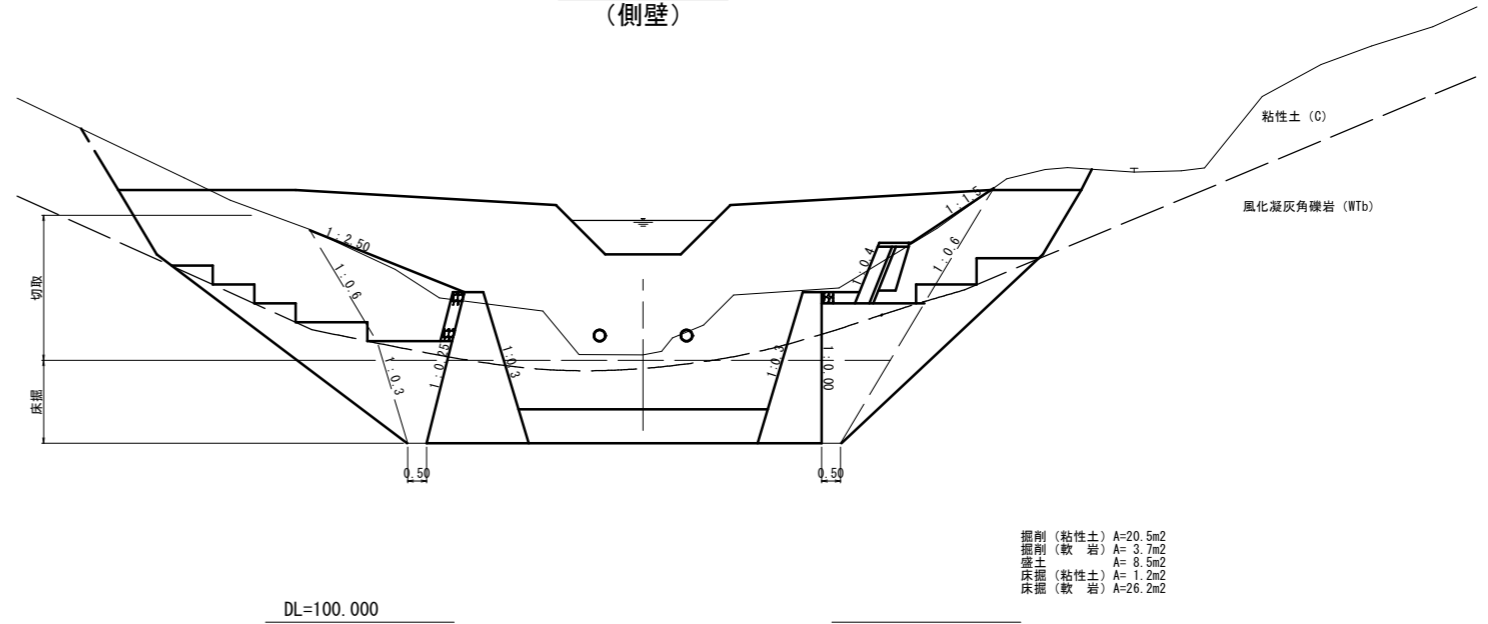


治山ダム土工図 (2)

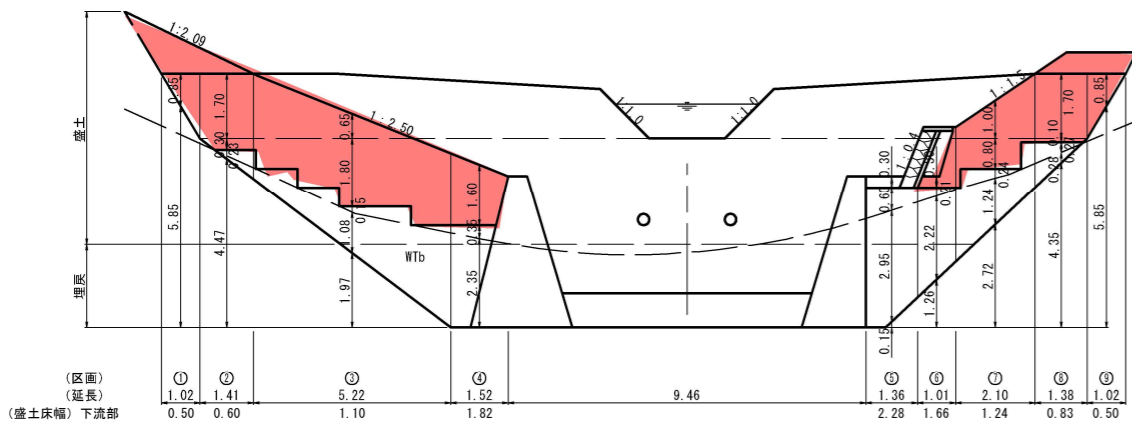
本堤正面図 (上流側)  
(埋戻・盛土)



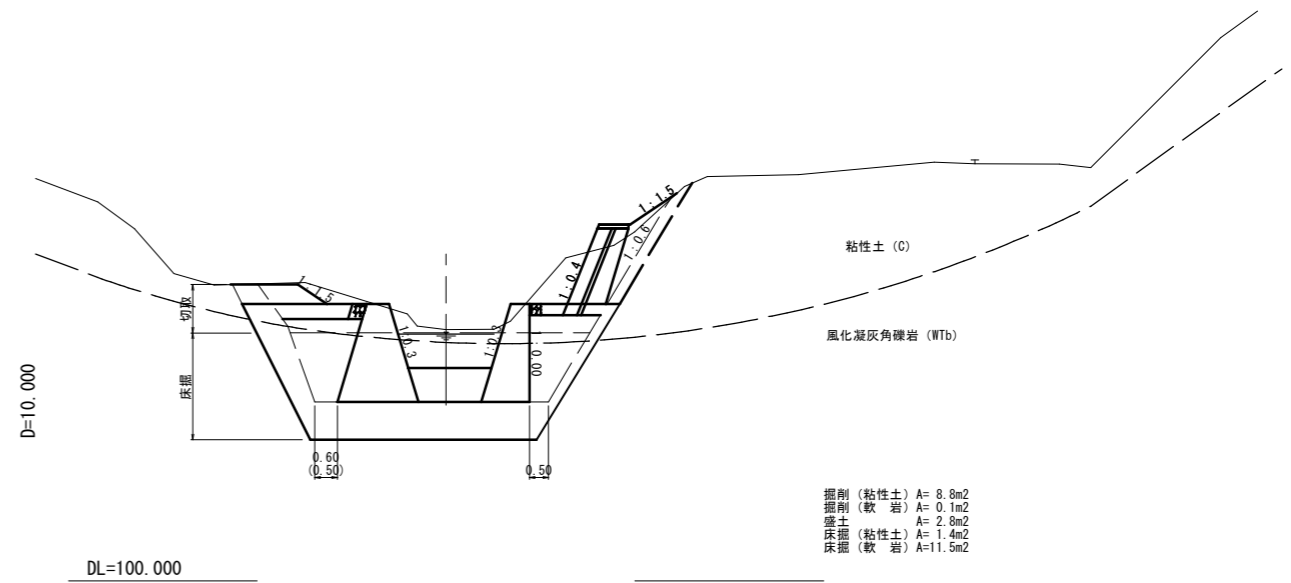
1N0. 6+7. 30 (下流側)  
(側壁)



本堤正面図 (下流側)  
(埋戻・盛土)



1N0. 5+17. 30 (上流側)  
(側壁)



起工

年度	令和 8 年度		
名称	治山ダム土工図 (2)		
施工地	倉吉市大立		
事業名	大立地区復旧治山工事 (1工区)		
事業所	鳥取県中部総合事務所		
図面番号	1 2	縮尺	1/100 (A1)

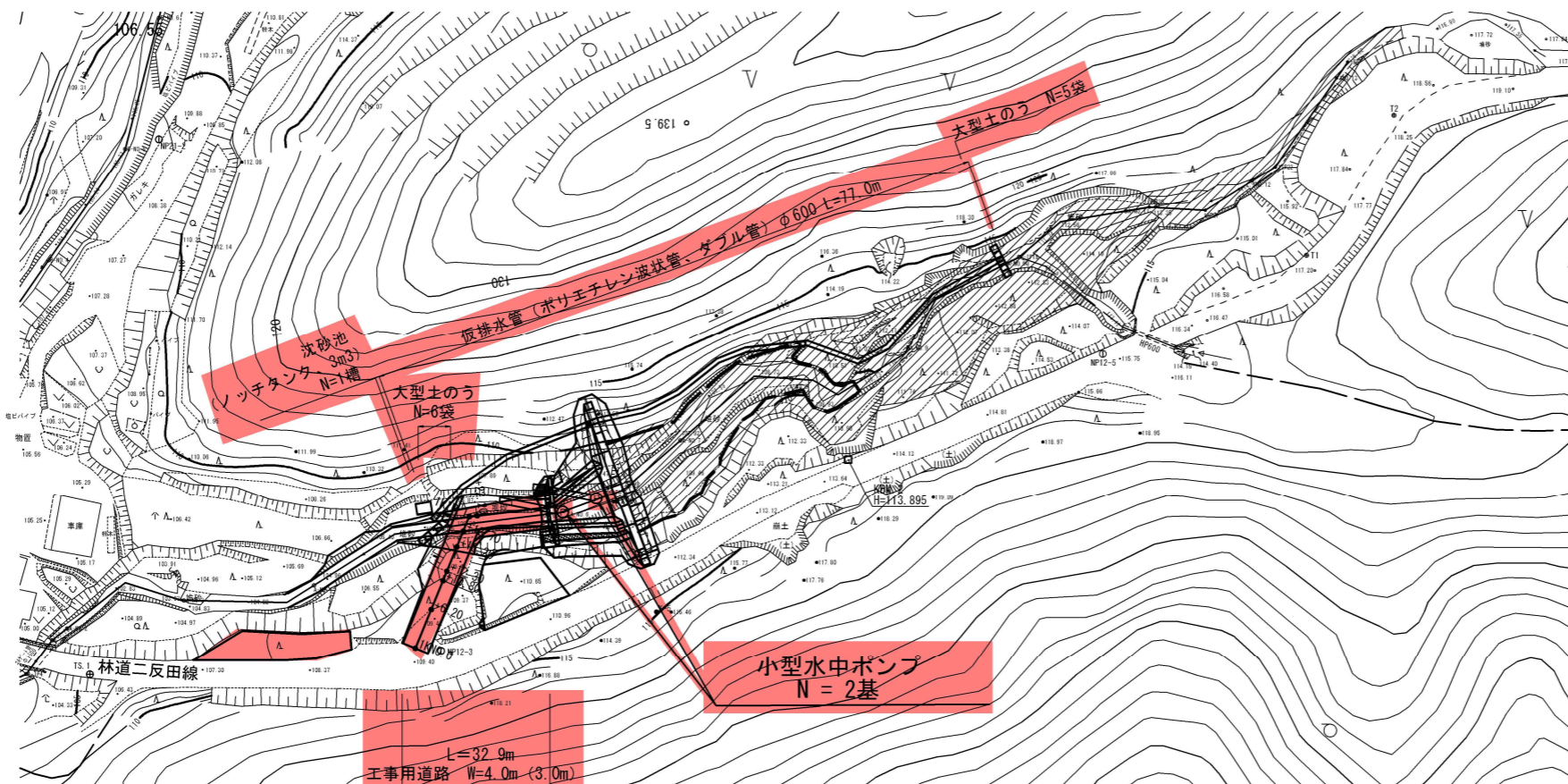
(単位 : m)

※縮尺は A 1 印刷時のもの。

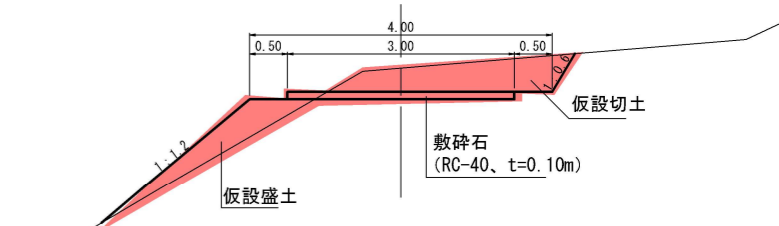


仮設平面図 S=1:500

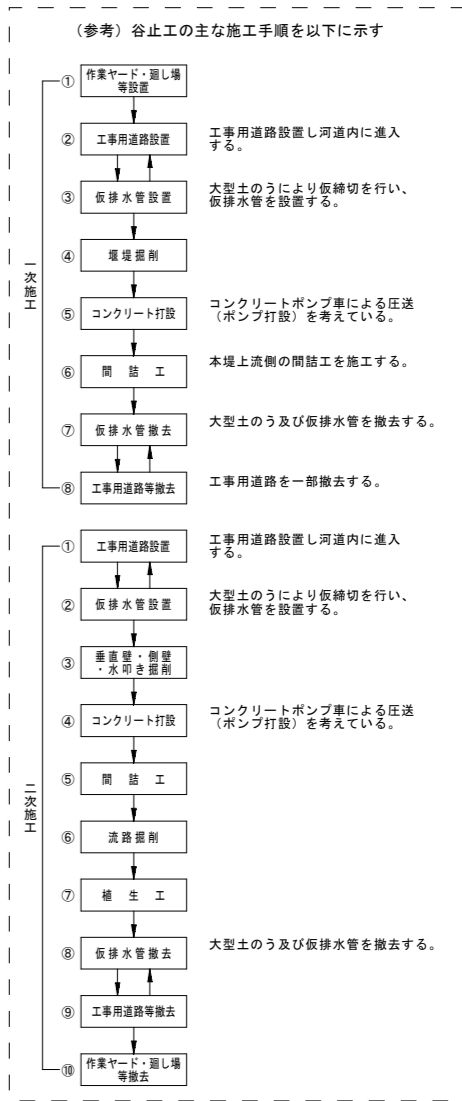
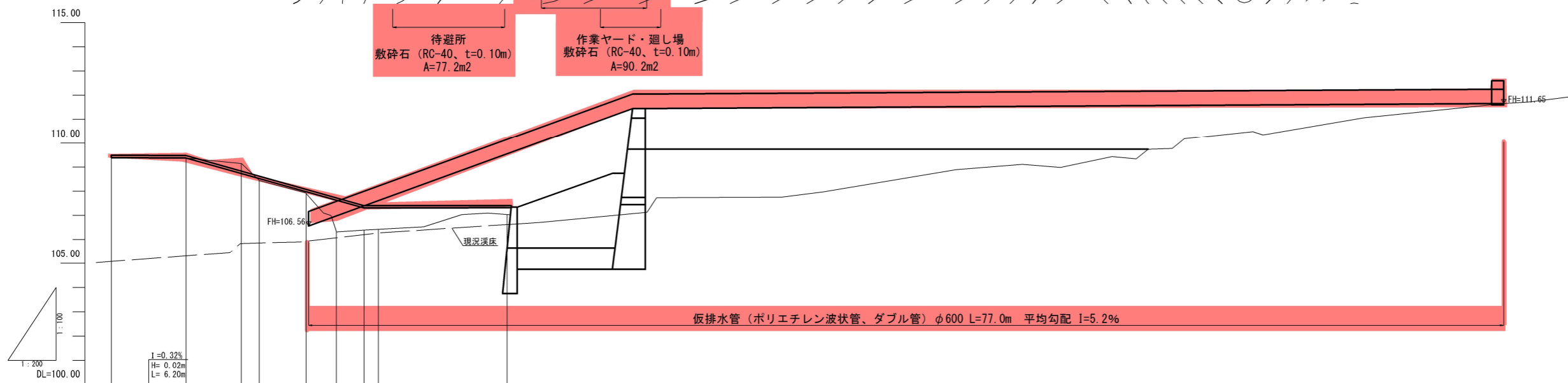
準備工の伐採は、この上流のエリアを含む。



工事用道路標準横断面図 S=1:50



工事用道路縦断面図 V=1:100 H=1:100

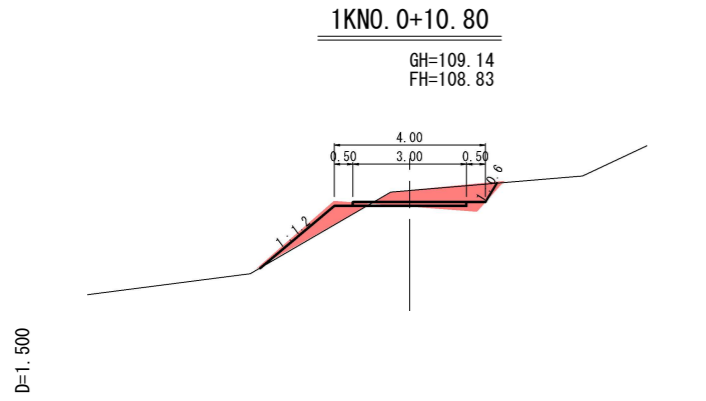


勾配	109.49	109.47	I=14.00% H=2.07m L=14.80m		107.40	LEVEL	107.40
盛土	0.00	0.00	0.00	0.17	1.38	1.01	0.98
切土	0.00	0.00	0.31	0.00	0.00	0.00	0.00
計画高	109.49	109.47	108.83	108.62	108.07	107.72	107.40
地盤高	109.39	109.37	109.14	108.49	107.90	106.34	107.04
追加距離	0.00	6.20	10.86	12.30	16.20	18.70	21.06
単距離	0.00	6.20	4.60	1.50	3.90	2.50	2.30
測点	1K0 0	+6.20	+10.80	+12.30	+16.20	+18.70	1K15 1
							+22.20
							+32.90

※工事用道路縦断面図は、ペーパーケーション。

起工	令和 8 年度
名称	仮設平面図・工事用道路縦断面図・工事用道路標準横断面図
施工地	倉吉市大立
事業名	大立地区復旧山工事 (1工区)
事業所	鳥取県中部総合事務所
図面番号	14 縮尺 図示(A1)

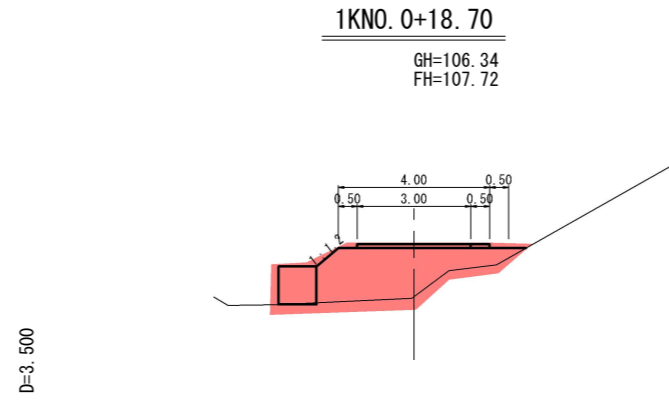
(単位: m)  
※縮尺はA1印刷時のもの。



D=1.500

DL=100.000

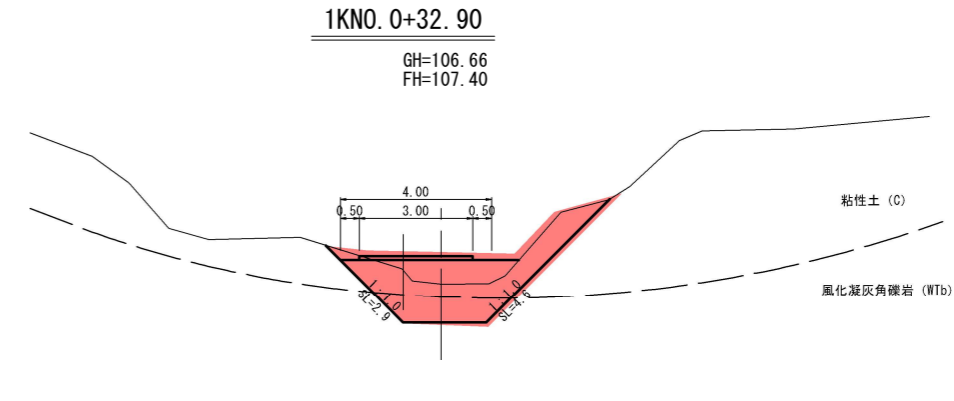
仮設切土 : 1.3 m<sup>2</sup>  
仮設盛土 : 0.7 m<sup>2</sup>  
敷砂利 : 3.00m



D=3.500

DL=100.000

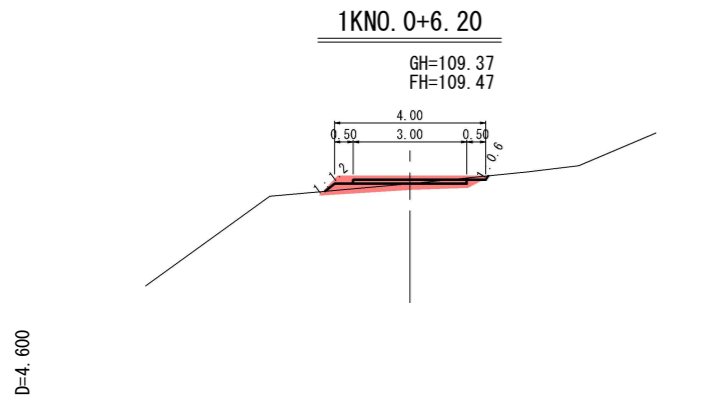
仮設切土 : - m<sup>2</sup>  
仮設盛土 : 5.1 m<sup>2</sup>  
敷砂利 : 3.50m



D=10.700

DL=100.000

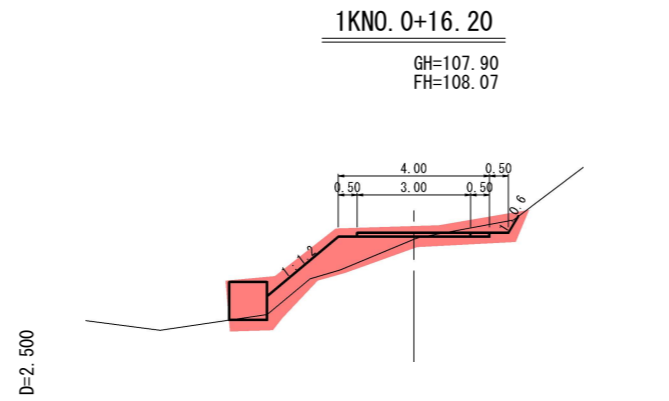
仮設切土 : - m<sup>2</sup>  
仮設盛土 : 1.8 m<sup>2</sup>  
敷砂利 : 3.00m



D=4.600

DL=100.000

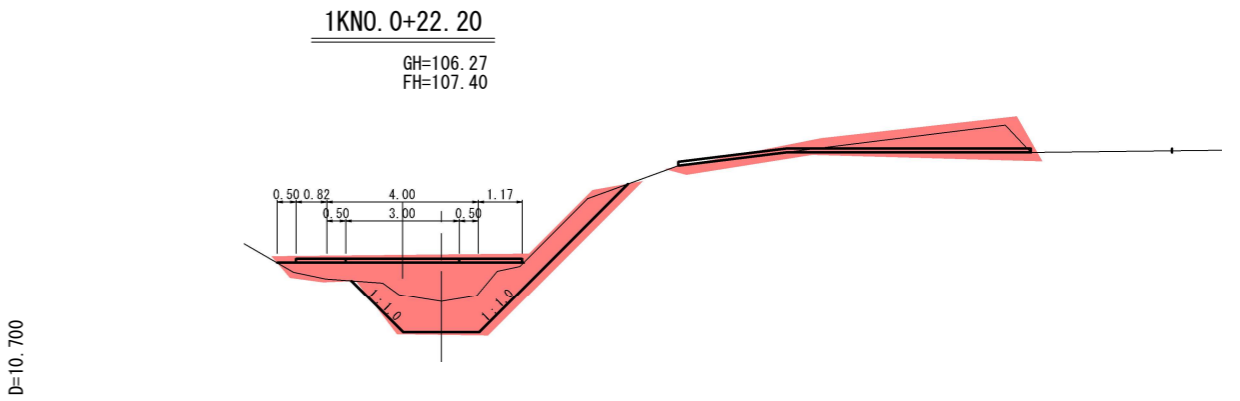
仮設切土 : 0.2 m<sup>2</sup>  
仮設盛土 : 0.2 m<sup>2</sup>  
敷砂利 : 3.00m



D=2.500

DL=100.000

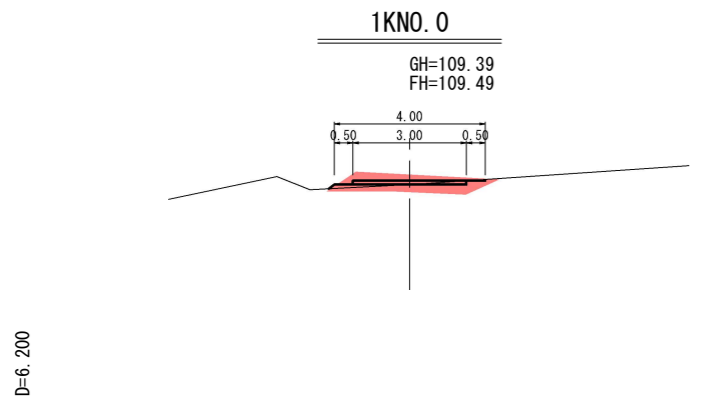
仮設切土 : 0.5 m<sup>2</sup>  
仮設盛土 : 2.0 m<sup>2</sup>  
敷砂利 : 3.50m



D=10.700

DL=100.000

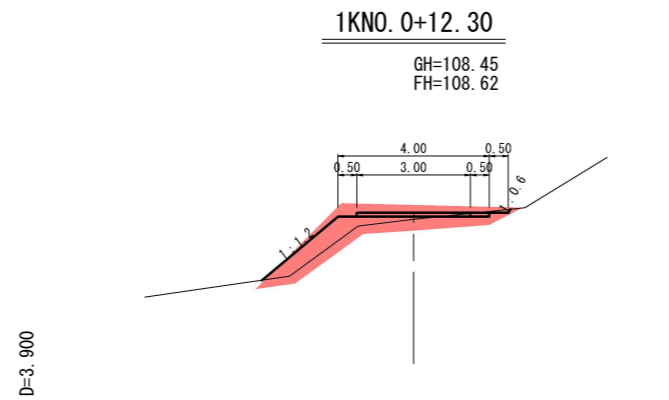
仮設切土 : - m<sup>2</sup>  
仮設盛土 : 3.7 m<sup>2</sup>  
敷砂利 : 5.99m



D=6.200

DL=100.000

仮設切土 : 0.1 m<sup>2</sup>  
仮設盛土 : 0.1 m<sup>2</sup>  
敷砂利 : 3.00m



D=3.900

DL=100.000

仮設切土 : 0.1 m<sup>2</sup>  
仮設盛土 : 1.4 m<sup>2</sup>  
敷砂利 : 3.50m

起工	
1KNO. 0~1KNO. 0+22.20	
年度	令和8年度
名称	工事用道路横断面図
施工地	倉吉市大立
事業名	大立地区復旧治山工事(1工区)
事業所	鳥取県中部総合事務所
図面番号	15 縮尺 1/100 (A1)

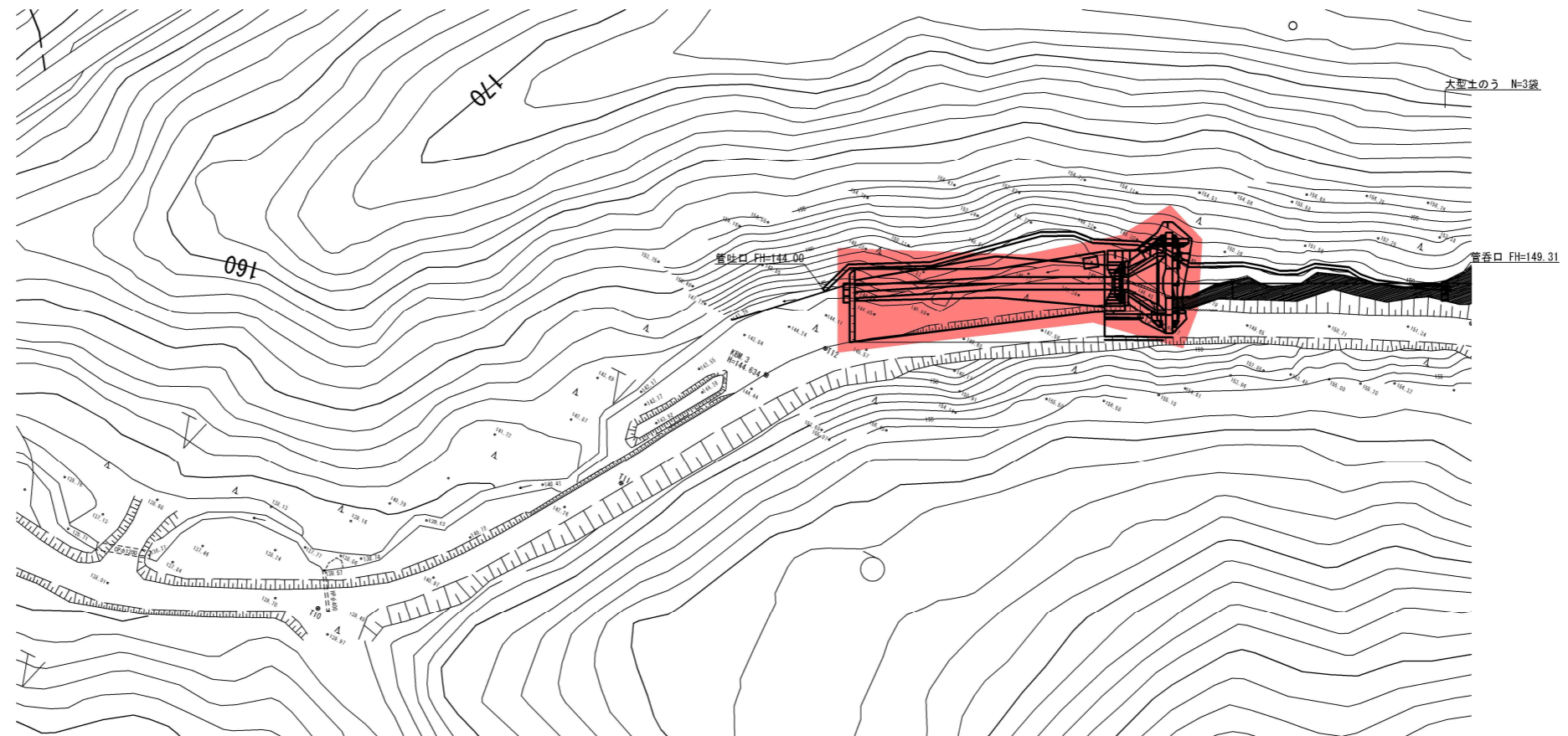
※工事用道路横断面図については、パーバロケーションである。

(単位 : m)

※縮尺はA1印刷時のもの。

上流エリアの伐採範囲図

S=1:500



起工	
年度	令和8年度
名称	準備工図(上流エリア)
施工地	倉吉市大立
事業名	大立地区復旧治山工事(1工区)
事業所	鳥取県中部総合事務所
図面番号	16
縮尺	1/100 (A1)

(単位: m)

※縮尺はA1印刷時のもの。